

建材マンズリー

Kenzai Monthly

ここでちょっと一息 Coffee Break
ミラノサローネ2014 レポート

付加価値創造に挑戦 注目企業を訪ねる
八面六臂株式会社

今月のニュース
建材マンズリー資料室

特集

ココロもカラダも健やかな住まい
～求められる「健康維持増進住宅」～

ココロもカラダも 健やかな住まい

～求められる「健康維持増進住宅」～

「健康維持増進住宅」とは、住宅の温熱環境や空気環境、湿気の問題などを「健康」という切り口で捉え直し、断熱性や気密性、換気などの重要性を訴求した住宅のこと。国土交通省は、高齢者、障がい者、子育て世帯等多様な世代が安心して健康に暮らすことができる住まいまちを「スマートウェルネス住宅・シティ」としてその推進事業予算として340億円を計上。健康の維持・増進に係る住まいづくりへの関心が、今後一層高まっていくことが予想される。そこで、「健康」という視点から住宅を捉え直した「健康維持増進住宅」の概要を、住友林業筑波研究所の二人に説明してもらった。



「住まいにおける健康」の9つのキーワード

「住宅」を「健康」の視点で捉える

綿引 住宅の断熱性や気密性について、省エネなどのメリットをいくらかお客様にご説明しても、コストがかかる話なのでなかなかご理解いただけません。そこで「高気密・高断熱の住宅なら、健康で病気になるにくい環境を得られる」という、今までとは違う「健康の視点」から訴えたらどうだろうか、といった発想が出てきました。

健康になれば医療費の削減にもつながり、「生涯健康な社会形成」*1を実現するためにふさわしい取り組みだということ、2007年に国土交通省の主導で「健康維持増進住宅研究委員会」が発足し、翌年には産業界も参加したコンソーシアムが立ち上がり活動を始めました。



住友林業株式会社 筑波研究所 健康維持増進住宅研究 設計ガイドライン部会ガイドラインWG委員 綿引 誠

綿引 誠

多くの時間を過ごす住宅で健康に過ごすには、建築的にはどのようなことができるのか。科学的根拠をしっかりとらせた上で健康と住宅の関連を整理していかうと研究・調査を重ねられ、その成果の一つとして、一般消費者向けの「健康維持増進住宅ガイドブック」(以下、「ガイドブック」)と設計者・施工者向けの「健康に暮らす住まい9つのキーワード設計ガイドマップ」(以下、「設計ガイドマップ」)が刊行されました。

関連性が明らか 「温熱環境」

根本 健康に関わる住宅の環境要素としては、温度や湿度、におい、音振動、光・視環境などが挙げられます。中でも大きな影響を与えるのは「温熱環境」と「空気質」*2です。住宅環境と健康との関係は、直接的にはなかなか分かりづらいのですが、この2つは関係性かなり明らかになってきています。

例えば、寒い時期に風呂場内で起こる不慮の事故の多くは、各室間の温度差が大きいため発症するヒートショックが関係していると考えられます。また断熱性が高い住宅へ転居すると健康状態が改善する、という健康維持増進住宅研究委員会が行ったアンケート調査もあります。

断熱性能と健康の相関関係は確かにあり、研究が進めばメカニズムが解明され、因果関係もはっきりしてくると思います。

建築ができることは数多くある

根本 空気質が健康に与えるマイナスの影響が一般的に知られるようになったのは、ホルムアルデヒドなどによるシックハウス症候群の発症が発端ですが、その後VOC(揮発性有機化合物)が問題となり、最近では微生物が出す揮発性有機化合物(MVOC)も原因となることが分かってきています。健康に影響を与える化学物質は、工業製品だけでなく自然由来のものもあるということです。

健康維持増進住宅を実現するため、建築の立場からできることはた



住友林業株式会社 筑波研究所 健康維持増進住宅研究 綿引 誠

根本 孝明

くさんあります。健康へのリスク低減ではシックハウスを例に取ると分かりやすいと思います。まず汚染物質を出さない材料を使うなど原因を排除する。汚染物質が出てしまつたら、換気設備を整え、機能性建材で汚染物質の吸着や分解を促すなどの対策を取る。そしてこうした対策が効果を発揮できる気密性の高い住宅を用意することで。また、住む人が気持ちよく暮らせて満足度が高い住宅を提供できれば、生活の質が高まり、ひいては健康増進につながります。

積極的にガイドマップの活用を

綿引 残念ながら健康と住宅の関連性は、まだ一般にはあまり知られていません。そこで建築に携わる方々には、ぜひ「ガイドブック」や「設計ガイドマップ」を活用していただ

「健康維持増進住宅ガイドブック」(発行:一般財団法人建築環境・省エネルギー機構) *同機構ホームページで購入可 (http://www.ibec.or.jp/)



(設計・施工者向け)



「健康に暮らす住まい9つのキーワード 設計ガイドマップ」(発行:建築技術) (一般書店にて購入可)

住友林業の健康維持増進住宅

健康な暮らしは木の家から

住友林業では、国が推進する「健康維持増進住宅」を、①木の家、②快適な室温、③設計の工夫、④快適な設備という4つのポイントに重点を置いて考えている。

構造から内装まで木のよさを住まいに生かし、高い断熱性能により部屋間の温度差を軽減し、一年を通して心地よさを実現。また、コミュニケーションを重視した空間の提案や安全を考えた設計に配慮し、空気質を守り快適な毎日をサポートする設備や仕様を多彩に提案する。

注文住宅ならではの住む人の要望に合わせた、身体も心も健やかになる健康維持増進住宅を基本にして、住友林業の家は設計されている。

住友林業が考える「健康維持増進住宅」の4つのポイント

Point 1 木の家

木は五感に働きかけ、癒しをもたらす。木のよさを住まいに生かすことで、心身ともに安らげる空間を実現する。



Point 2 快適な室温

高い断熱性能に加え、風の涼しさ、太陽の暖かさを取り入れる設計思想「涼温房(りょうおんぼう)」で身体に負担をかけない。



Point 3 設計の工夫

コミュニケーションを重視した空間提案や、安全を考えた設計配慮により、豊かなふれあいで心やすらぐ空間に。



Point 4 快適な設備

空気質を守ったり、スムーズな家事や快適な毎日をサポートする設備を用意。



*3 踏み板の先端部分

*1 2007年に閣議決定された政府の長期戦略指針「イノベーション25」で示された、中長期的に取り組むべき社会システム改革の一つ。

*2 建物内の空気中の二酸化炭素やホルムアルデヒドなどのガス成分量。

健康に影響を及ぼす 住まいの環境チエツク

気密・断熱性能や換気性能が十分確保されていない住宅では、特に冬に風邪を引きやすいといわれる。また、家の中の温度差が大きい家は脳卒中や心筋梗塞のリスクが高くなり、湿気の多い家ではアレルギー性疾患になりやすい。そこで、住まいに関連する5つの症状とその原因、対策をまとめてみた。

症状1 熱中症

原因 高温・多湿・無風・輻射熱が引き起こす

最高気温が30℃以上の真夏日が多くなると、「熱中症」による搬送者数が増える。夜間の最低気温が25℃以上の熱帯夜も熱中症の発症に大きく関わる。熱中症は気温や室温が高い中で、発汗による脱水症状を起こしたり、体内の塩分バランスを崩したり、体温調節機能を失うことで発症する。めまい、失神、頭痛、吐き気、体温の上昇などが起こり、適切な処置を施さないと死に至る危険性もある。

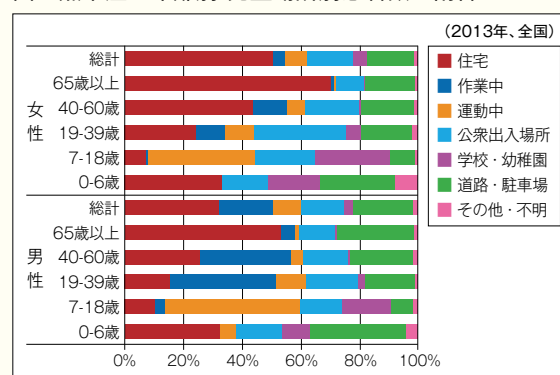
発生数が増えている。猛暑に見舞われた2010年には約5万6000人が救急搬送され、1745人が死亡した。その約8割は高齢者だった。また、死亡者の約45%は室内で熱中症を発症している。住宅内における発症の環境条件には、「気温、湿度、気流、輻射熱」の4要素が関わる。具体的には室温が高い、湿度が高い、風通しが悪い、窓からの日差しが強い、壁や屋根の輻射熱が強い、閉め切った熱がこもる、エアコンが設置されていない等の高温多湿の温熱環境だ。

対策

● 外部からの熱を遮断する。高气密・高断熱化、遮熱屋根材・遮熱塗料などの使用。屋根や壁の下地に熱線反射シートを貼る
● 窓への日射遮断フィルム、遮熱タイプのLOW-E複層ガラスの利用

● 外付けブラインドや外付けスクリーンを使って日差しをカットし室内の温度上昇を抑える
● 窓周辺の樹木の植栽や壁面緑化によって太陽からの輻射熱を抑える
● エアコン等の適切な利用

図1 熱中症の年齢別・発生場所別患者数の割合



(出所：環境省「熱中症環境保健マニュアル2014年3月改訂版」より)

症状2 ヒートショック

原因 住宅内の温度差が命に関わる場合も

個別暖房の多い日本の住宅は、冬場は居間と風呂場・洗面脱衣所などとの温度差が大きい。この各室間を移動することで急激な温度変化によって身体が受けるダメージを「ヒートショック」という。

例えば、暖かい居間から寒い脱衣所に行き、服を脱いで浴室に入ると血圧は急上昇する。さらに湯船につかると身体が温まると、血圧は急激に下降する。こうした血圧の激しい変化は脳卒中や心筋梗塞につながる危険性があり、また急に血圧が下がることによって脳血管や意識障害を起こし、浴槽内で溺れるという深刻な事故を引き起こす。

症状3 アレルギー

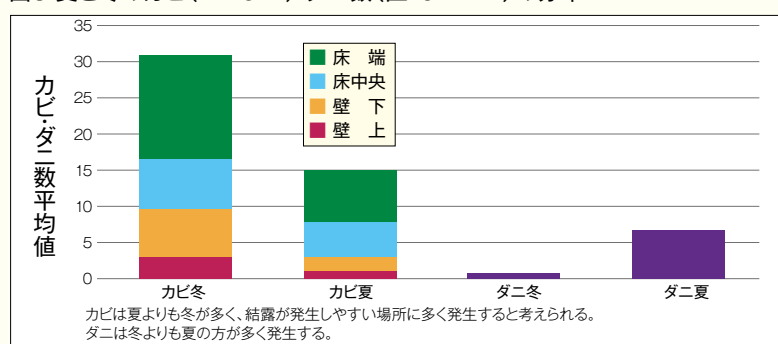
原因 湿気によるダニ・カビの発生

近年、アレルギー関連の病気を持つ子どもたちが増えている。「アレルギー性疾患と居住環境」についての大規模な疫学調査が行われ、全国で50%の児童が罹患していることが分かった。ぜんそくは「ダニ」や「ハウスダスト」、アレルギー性鼻炎は「花粉」、アトピー性皮膚炎は「ハウスダスト」や「カビ」などが主な原因だ。

アレルギー性疾患は、室内空気汚染や湿気問題と密接な関わりを持つ。特に湿気の多い状態で起こる「結露」や「カビの発生」「水シミの発生」が少なからぬ影響を及ぼす。化学物質による空気汚染には強制換気が、湿気過剰の環境には適切な湿度管理や結露対策が必要となる。

従来、住宅の健康問題といえばシックハウス症候群が主に取り上げられてきた。しかし最近では、カビやダニなどの生物汚染、ハウスダストによる汚染がクローズアップされて

図3 夏と冬のカビ(/42cm²)・ダニ数(匹/0.27m²)の分布



(出所：日本建築学会「日本建築学会大会学術講演梗概集 カビ・ダニの実態と建築的要因に関する調査研究その2 調査対象住宅の属性」、2007年)



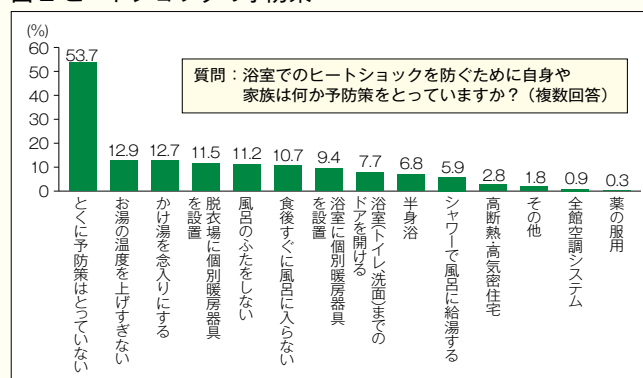
コナヒョウヒダニ。日本の家屋で普通にみられ、その死骸や糞がアレルギーの原因とされている。
写真=isei/PIXTA (ピクスタ)

いる。カビが健康に与えるリスクがかなり高いことは、2011年のWHO(世界保健機関)のレポートでも報告されている。また欧米では、室内空気汚染の化学物質は、ホルムアルデヒド以外のVOC(揮発性有機化合物)に移りつつある。さらに湿気が原因で生じるダンプハウス(ジメジメした家)におけるM VOC(微生物由来の揮発性有機化合物)の発生も、子どもたちのアレルギー症状との関連が指摘されている。例えば壁のクロス内部に繁殖するカビからMVOCが発生し、アレルギー性疾患リスクを高めるなどだ。

対策

● 高气密・高断熱で建物の気密性と安定した室温を確保し、機械換気システムで湿気を排除する
● 防湿の強化、通気層の確保あるいは通気止めによる排湿の促進などで結露を防ぐ
● 湿度を50%以下に保つようにする(ダニは気温25℃、湿度75%前後でもよく繁殖する)
● 木炭などを使った床下・天井調湿材、珪藻土の壁材や各種の調湿建材を使用する

図2 ヒートショックの予防策



(出所：アズビル株式会社「ヒートショックに関する意識調査」インターネット調査、2012年1月)

対策

● 建物の高气密・高断熱化、断熱性能の高い樹脂サッシ・複層ガラスの採用
● 全館空調システムを取り入れる
● 浴室温風暖房器の設置
● 浴室床暖房や冷たく感じない浴室材の採用

【参考資料】健康維持増進住宅研究委員会(2007年～2012年・国土交通省)配布資料、『健康に暮らす住まい9つのキーワード 設計ガイドマップ』(建築技術)、『熱中症環境保健マニュアル2014年』(環境省)、熱中症対策に関する検討会(2012年・厚生労働省)配布資料、『冬季における高齢者の入浴習慣と入浴事故死亡率の地域差に関連する要因』(高崎裕治ほか)

ココロもカラダも健やかな住まい ～求められる「健康維持増進住宅」～

症状 4

転倒・骨折

原因 ほんの少しの段差が引き金に

厚生労働省のデータ(2009年)によると、家の中で転倒や転落で死亡した人は2676人。高齢者の事故が圧倒的に多い。

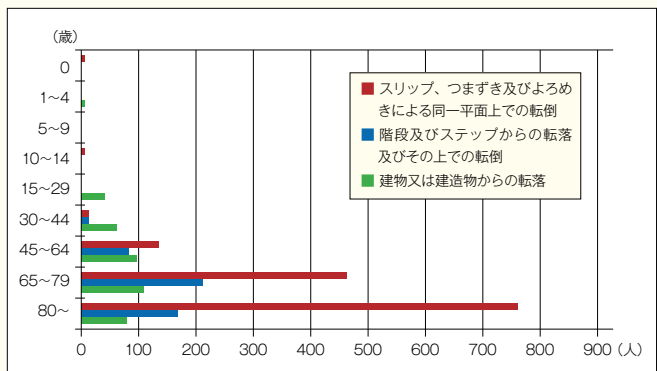
最近ではバリアフリーで段差は少なくなってきたものの、日本の住宅は玄関ポーチ、敷居、上がり框、廊下と和室・和室と洋室の間、脱衣所と浴室など、いたる所に段差がある。洋室と和室の間は畳の厚さ分の段差しかないが、このわずかな段差でもつまずきの原因となり、骨折などの事故につながる。

また、フローリングで滑って転倒し、骨折というケースは高齢者だけでなく、40代の壮年層も気をつけなくてはならない事故だ。

対策

- 高さを嵩上げしたり、スロープを設けるなどによる段差の解消
- 段差が必要な場合は、あえて15センチくらいの高さにして、段差が

図4 家庭内における転倒・転落による死亡者数



(出所：厚生労働省 平成 21 年 (2009 年) 人口動態調査のデータをもとに作成)

- 確認できるよう工夫する
- 洋室と和室の段差は、床面の高さを変える改修工事が、和室の敷居の高さに合わせた三角スロープを洋室側の床に取り付ける
- 廊下やトイレ、浴室には手すりを付ける
- 廊下や浴室の床、階段の踏み板は滑りにくい素材に変える

【参考】これらの改修は、介護保険対応の住宅改修やバリアフリーリフォームの対象となり工事費の補助や減税措置が受けられる場合がある。

症状 5

ストレスや疲労感

原因 住まいの満足度が低い

国民生活基礎調査によると、日本人が抱える体調不良の自覚症状で最も多いのは、男性では「腰痛」次いで「肩こり」、女性では「腰痛」次いで「肩こり」で二番目が「腰痛」である。国民病ともいえる腰痛や肩こりが「住まいの満足度」の高さによって減少するという調査結果が出ている。

住宅で過ごす時間が長い腰痛・肩こり持ちの女性を対象に、健康維持増進住宅研究会の健康増進部会

図5 腰痛/肩こりと生活行動・住環境との関連



(出所：国土交通省 健康維持増進住宅研究会 12.03.16 資料 No.7 「健康増進部会 活動概要」の内容をもとに作成)

対策

- 住まいの満足度は、室内の涼しさや暖かさ、カビや有害物質の発生のない清潔さ、騒音や振動のない静かさ、適切な照明、段差などのない安全なつくり、防犯を配慮した安全性などから生まれる
- 快適な暖冷房や換気を実現するリフォーム、インテリア、エクステリアの改修、照明の変更、庭造りの提案などで対応する

では、5000人を対象としたWeb調査を2010年度に実施した。その結果、「住まいの満足度」が高いと、「慢性的腰痛や肩こり」に強い影響を及ぼす「ストレスや疲労感」が減少することが分かった。また「住まいの満足度」が高いと「家事的楽しみ度」が増して、その結果「ストレスや疲労感」が少なくなり「慢性的腰痛や肩こり」が減少する、という相関関係も明らかになった。

「住まいの満足度」を測るチェック項目は、暖冷房、エクステリア、庭、照明、インテリア、住宅の広さ、住環境全般などだ。住む人の満足度が高く、家事を楽しめる住宅が、ストレスや疲労感を軽減し、腰痛や肩こりも予防するという可能性が見えてきた。

※次号では健康住宅特集第2弾(実例編)として「断熱リフォーム」を取り上げる予定です。

【参考資料】『冬場の居室内の温度管理と健康について』『わが国における入浴中心肺停止状態(CPA)発生の実態』(東京都健康長寿医療センター研究所)、『入浴関連事故の実態把握及び予防策に関する研究について』(厚生労働省)、『室内環境中のダニ・昆虫とアレルギー疾患』(福富友馬ほか)、『住まいの健康影響度調査 第二次調査報告書』(健康・省エネ住宅を推進する国民会議)、『建築と健康』(国立保健医療科学院 生活環境研究部施設管理研究)



藤井繁子

『月刊 HOUSING』編集長、リクルート住まい研究所主任研究員などを経てフリーの住生活ジャーナリストに。自治体や市民団体と街づくりに関わりながら、国内外で取材・コンサルティング活動などを行っている。

ミラノサローネ2014 レポート

一家具&キッチン国際見本市の動向とデザイントレンド

今年のサローネは、プレEXPOモード

今年も4月、インテリアデザインの祭典ミラノサローネの取材に飛びました。来年5月からミラノでは万博が開催されるためサローネもそのステップとして盛り上げを図り、国際見本市会場にレンツィ首相も訪れる力の入れ様。期間中、見本市には160カ国から35万7212人、加えてミラノ街中のイベントやショールームに世界中からデザインコンシャスな人たちが集まってきました。

デザインは【Flexible】 素材は【Ebony】

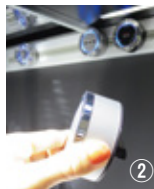
多様で変化も速いライフスタイルを反映して、カスタマイズしやすいプロダクトが家具・キッチン共に多く見られました。組み合わせたり、動いたり、取り外せたりと、使い手に発想の自由を与えるフレキシブルなもの。併せてコンパクト化している印象を受けましたが、一方では中国や中東の富裕層を意識した巨大なキッチンや家具も健在。木目や石模様が強い素材で重厚感を高めています。中でもエボニー（黒檀）を使った家具を新商品に出している高級ブランドが目につきました。

グローバルを見据えた日本企業

ミラノサローネに今年初出展した日本企業の中で、窓メーカーのYKK APやキッチンのクリナップの様子もチェック。どちらも製品を本格的に輸出する段階ではなく、「社内のデザイナーや商品開発者にとって挑戦する機会、モチベーションも高まる」（クリナップ）、「YKKグループが窓も作っている企業であることを伝えるブランディング」（YKK AP）と現時点の目的に合わせた展示を実現し、来場者から好評を得ていました。また、5年前からサローネに出展し先行するパナソニック（旧松下電工）は、日本の引戸をインスタレーション*のテーマに取り上げたり、収納機器の内蔵デバイスを各国のキッチン・家具メーカーに提案する動きも見られました。日本の住宅関連企業も今後のグローバルビジネスへの足掛かりを付け始めています。

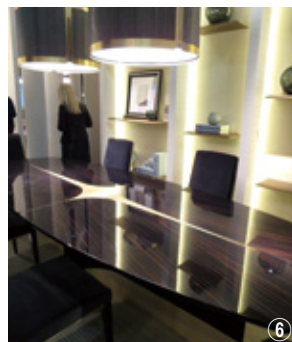
そんな今年のサローネで一番人気は日本人デザイナー、nendo（佐藤オオキ）。昨年のエルデコ・アワードを受賞したこともあって、世界20社以上のクライアントからプロダクト等を発表し引っ張りだこ！ 特に写真⑦のキッチンは、またデザイン賞を総なめしそうな勢いでした。

* 会場や空間全体を含めて作品とみなす表現



【Flexible】①Minotti社：ソファの背もたれとアームも90度までリクライニングする。私なら腰かけたりもできる。②eubiq社：キッチン各社に導入されていたフリーアドレスの電源「GSSシステム」。レールを付けておけばコンセントやUSBチャージャーなど自由に増やせるし、取り外して場所の移動も簡単。“世界で最もフレキシブルな電源”とアピール。③CASSINA社：小さなテーブルを複数、高低差をつけて演出。単独で置くも、重ねるも使い方次第

④クリナップ「DAIDOCORO」をコンセプトに、鏡レベルまで磨いたステンレスで独自のINCO着色技術も披露。漆塗りに見える美しさ



⑤ARMANI/Dada社：150kgの大理石天板がスライドレカウンターテーブルになるキッチン。⑥FENDI社：ゴールドの星デザインが強烈なダイニングテーブルは【Ebony(黒檀)】を使ったシリーズ。⑦SCAVOLINI社：日本のnendoがデザインした「Ki」（器と木をかけたネーミング）は白いコンテナ（器）をモジュール化して、レンジ台・シンク・換気扇・収納・椅子をデザイン。奥の棚のコンテナ（器）は個々に移動できる。シンプルかつ自由、これも【Flexible】デザイン

鮮魚業界の アマゾン・ドット・コムを 目指す流通ベンチャー

八面六臂株式会社



代表取締役

松田雅也 氏

IT技術を駆使して
顧客中心主義を実現

鮮魚の流通といえば漁師が市場に魚を卸し、納品業者を介して飲食店に届くという多段階構造の流通網が通常。しかし、八面六臂株式会社ではITを活用し、飲食店と直接取引を行うことで、ニーズを最大限にかなえる鮮魚流通を実現している。そして、飲食店が仕入れの際に用いるのが、iPadだ。

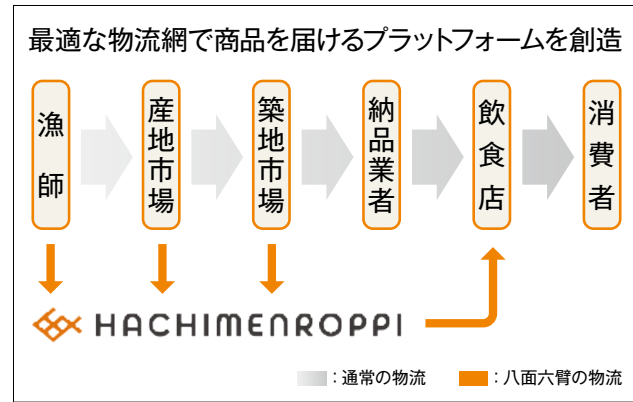
「私たちは、鮮魚流通に特化した独



旬の魚や産地直送品を低価格で購入できることが魅力だ

八面六臂株式会社

本社 ● 東京都新宿区愛住町22
創業 ● 2007年
資本金 ● 1億8580万円
従業員 ● 40名
事業内容 ● EC(電子商取引)事業



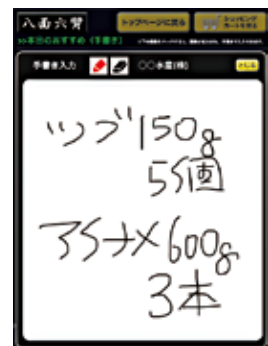
どんな付加価値を提供できるのかを、提供する側が明確につかんでいることが大切なのではないでしょうか」

付加価値を生み出さなければ生き残ることはできない

「大学を卒業してすぐの頃は、金融やIT、そして物流業に従事していました。そして、当社の前身のIT企業などに携わっていた頃、鮮魚流通の効率化に関する相談を受けたのですが、当時は実現しませんでした。市場規模3兆円というIT化されていない魅力的な業界ながら、2009年頃まではモバイル端末も



魚の情報も得ることができるiPadの注文画面



現場のニーズに対応し、手書き注文も受け付ける

未発達で、鮮魚流通を効率化しうるインフラも整っておらず、成功の可能性は極めて低かったためです。2010年に入ってようやくiPadの高性能化や低価格化が進んだことで、採算が合うと読んで踏み出しました。最初は魚に関して素人で、飲食店から突き返されたり膨大な在庫も抱えましたが、他でもないお客様である料理人に、魚について教えを乞いました」

鮮魚1匹からでも注文可能というが、コスト高をどのように抑えているのだろうか。

「利益の最大化や、質を度外視して少しでも安くという考え方が、日本の魚食文化を駄目にしたのではないかと私は考えています。当社が目指すのは、あくまでも適正価格。その代わり、

最高の鮮度を心がけるし、旬の入荷情報や売れ筋情報を組み合わせた商品提案なども行う。メニュー開発や盛り付けの提案、販促ツールの制作など店づくりに関わってお手伝いもしています。それが当社の付加価値なんです。顧客である飲食店をパートナーと位置づけ一緒に業績を伸ばし、日本の食文化を支えていくのが我々の使命。流通業界において付加価値を生み出せないプレイヤーは淘汰される時代です。業界の勝敗を決めるのは会社規模の大小ではなく、情報処理能力の速さと状況に応じて物事を変えていけるトップの決断力です」

飲食店の注文パターンや立地による売れ筋などあらゆるデータの集約・分析を徹底することで、鮮魚流通の需要と供給を最適化する同社は、「衣食住」に関わるものとしての使命感を持つ。現在の営業エリアは東京・神奈川・埼玉の一都一県だが、今後は、商品ラインアップを増やして販売エリアも関東全域へと拡大。アジアを中心に海外での展開も目指していくという。



飲食店からの注文はディーリングルームで24時間体制で管理している

「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業2部門で公募開始」 —国土交通省

国土交通省は、高齢者・障害者・子育て世代などの居住の安定確保や健康の維持・増進に役立つ事業の公募を5月28日から開始した。「一般部門」と「特定部門」の2部門の募集となる。

■ 一般部門（提出は2014年7月11日まで）

『先導的な住宅や施設の建設や改修、技術の検証など』が対象。2014年度中に事業着手することなどが条件となる。

1. 住宅や施設の整備(新築、取得または改修) ……………
[補助率] 整備費用の1/10(新築等)・2/3(改修)、
設計費用の2/3
※住宅改修の場合、補助の上限は200万円/戸
2. 先導的な提案に係わる居住者実験、社会実験等技術
の検証 ……………
[補助率] 検証費用の2/3
3. 情報提供及び普及 ……………
[補助率] 費用の2/3

■ 特定部門（提出終了時期は別途発表）

『医療や福祉関係者と連携して行う住生活空間の省エネルギー改修工事および、改修工事前後の健康状態の変化等に関する調査への協力などにより、健康の維持・増進に効果的な住宅の普及に対応した取り組み』が該当する。一定基準以上の省エネルギー性能とするなどの条件がある。

1. 住生活空間における省エネルギー改修工事 ……………
[補助率] 改修工事費用の1/2
※補助の上限は100万円/戸(併せてバリアフリー改修工事を行う場合は120万円/戸)
2. 事業成果の情報提供及び普及啓発 ……………
[補助率] 費用の2/3

◎ 問い合わせ先

スマートウェルネス住宅等推進事業室
TEL : 03-6268-9028 FAX : 03-6268-9029
E-Mail : model@swrc.co.jp URL : http://iog-sw.jp/

「中小工務店・大工業界の取り組み状況」調査結果を発表—国土交通省 ～「2020年までに新築住宅省エネ基準適合義務化」約6割が認知～

戸建て木造住宅供給の大半を担う中小工務店や大工技能者の実態を把握するため、国土交通省ではこれら工務店などの業務体制、省エネルギー基準への適合義務化に対する認識、長期優良住宅に対する取り組みなどについて調査を実施した。

中小工務店と大工業界4団体*の会員約4万5,000の事業者アンケートを送付し2,794件の回答を得た。

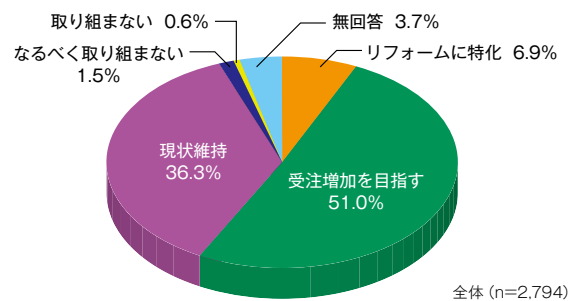
回答者の雇用社員数は0名が21%と最も多く平均は4.4名、平均年間新築受注戸数は5.3戸と、比較的小規模な事業者からの回答が多かった。

2020年までに新築住宅に「省エネルギー基準への適合が義務化されること」については、約6割の事業者が知っていると回答。43%の事業者はこれまでに元請けにより省エネルギー基準を満たす住宅を施工した実績があると答えた。長期優良住宅に関する取り組みについては認定取得の実績ありが25%。

リフォームに関しては、200万円以上の年間受注が平均7.5戸で、多くの事業者が「リフォームに必要な大工技能は新築に比べて高いレベルが必要」と回答し、今後は「元請けとしてリフォーム工事を積極的に請け負いたい」と答えている。

今後のリフォームに関する取り組み意向

今後、どの程度リフォーム工事を元請けとして請け負う予定ですか。



*全国建設労働組合総連合、(一社)全国中小建築工事業団体連合会、(一社)JBN、(一社)日本木造優良住宅協会

編集室より

広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。

kenzai-monthly@sfc.co.jp

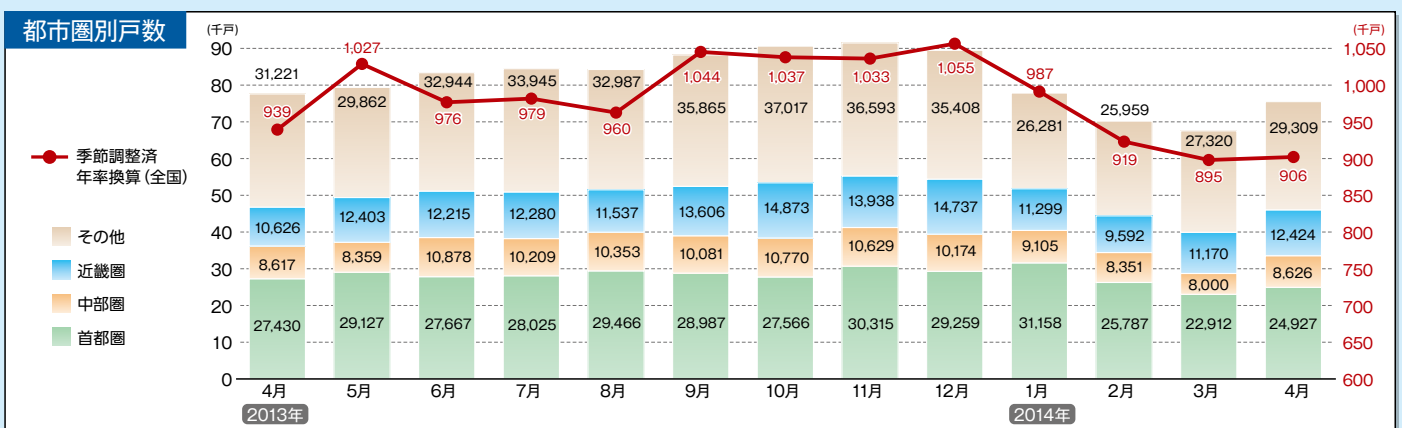
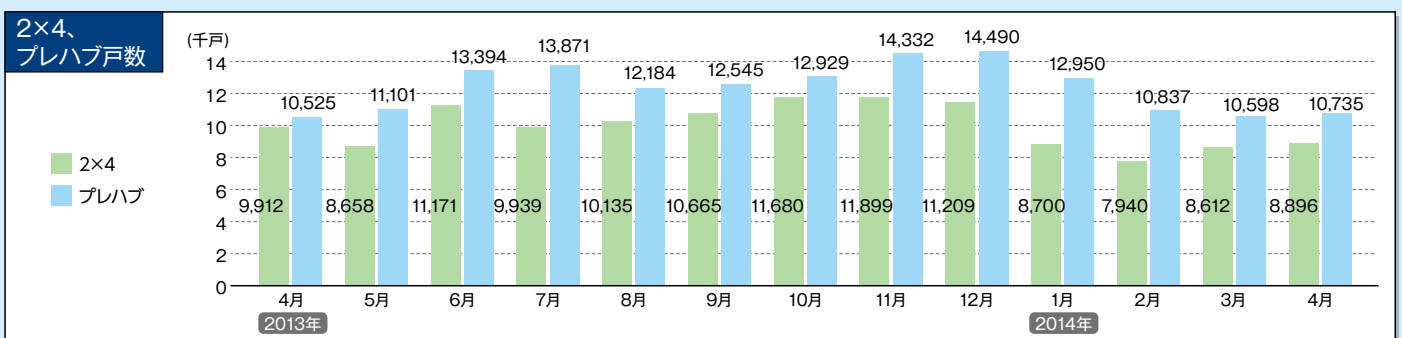
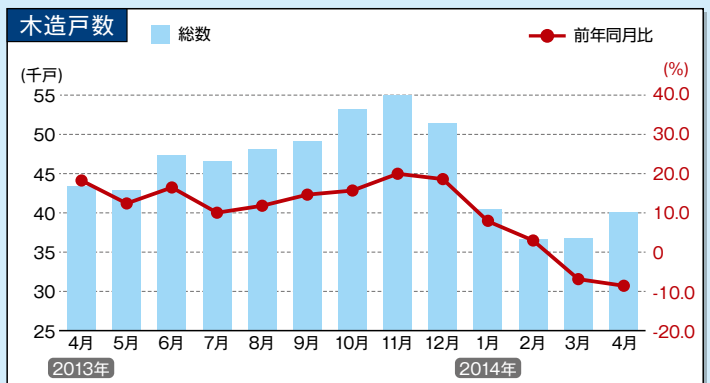
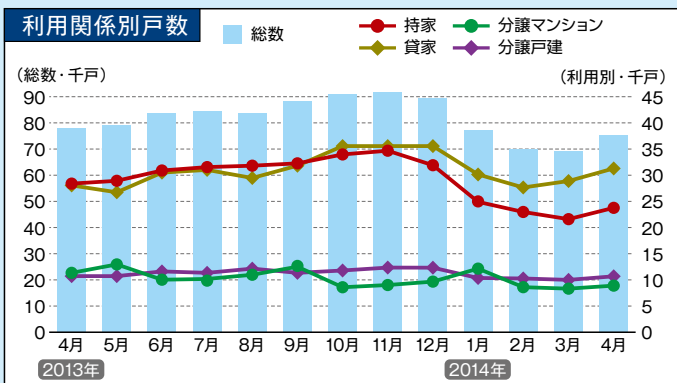
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部

編集後記

今年もすでに全国各地で真夏日、猛暑日を観測しています。私が子どもの頃は30度を超える日はそれほど多くはなかったと記憶していますが、今は朝から気温が上昇し、命にも関わる暑さです。先日、日射・照り返し対策に、2階の窓に日よけシェードを取り付けました。西と東の窓には外付ブラインドを設置、効果を実感しています。冬にはありがたい太陽の力ですが、夏はどうやって遮るか。緑のカーテンも順調に育っており、他にもお手軽な断熱方法がないか、日々模索中です。(S)

2014年4月の新設住宅着工戸数 △は減

		4月					3月	2月	1月
		対前月比		対前年同月比					
新設住宅計		75,286	5,875	8.5 (%)	△ 2,608	△ 3.3 (%)	69,411	69,689	77,843
建築主別	公共	3,033	981	47.8	861	39.6	2,052	1,829	1,661
	民間	72,253	4,894	7.3	△ 3,469	△ 4.6	67,359	67,860	76,182
利用関係別	持家	23,799	2,149	9.9	△ 4,558	△ 16.1	21,650	22,891	24,955
	貸家	31,177	2,252	7.8	3,335	12.0	28,925	27,744	29,953
	給与住宅	600	232	63.0	293	95.4	368	669	355
	分譲住宅	19,710	1,242	6.7	△ 1,678	△ 7.8	18,468	18,385	22,580
	うちマンション うち戸建	8,902 10,737	612 693	7.4 6.9	△ 1,816 178	△ 16.9 1.7	8,290 10,044	8,674 9,654	11,941 10,530
資金別	民間資金	65,129	3,982	6.5	△ 3,098	△ 4.5	61,147	61,969	69,670
	公的資金	10,157	1,893	22.9	490	5.1	8,264	7,720	8,173
	公営住宅	2,308	366	18.8	427	22.7	1,942	1,767	914
	住宅金融機構融資住宅	3,681	146	4.1	△ 311	△ 7.8	3,535	3,314	3,602
	都市再生機構建設住宅	417	417	-	413	10325.0	0	0	498
	その他住宅	3,751	964	34.6	△ 39	△ 1.0	2,787	2,639	3,159
構造別	木造	40,035	3,139	8.5	△ 3,726	△ 8.5	36,896	36,757	40,199
	非木造	35,251	2,736	8.4	1,118	3.3	32,515	32,932	37,644
	鉄骨鉄筋コンクリート造	586	△ 78	△ 11.7	261	80.3	664	148	19
	鉄筋コンクリート造	22,349	2,494	12.6	429	2.0	19,855	20,275	22,835
	鉄骨造	12,205	369	3.1	458	3.9	11,836	12,363	14,683
	コンクリートブロック造 その他	55 56	△ 38 △ 11	△ 40.9 △ 16.4	△ 37 7	△ 40.2 14.3	93 67	92 54	53 54



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

新発売

Joto

簡単施工

シロアリ対策

収納にも

扇形のステップで段差を解消!

HOUSE STEP R

丈夫で多機能 ハウスステップ Rタイプ

ちよっとおしゃれな扇形ステップでさらに使いやすく!

園芸用品入れに



遊び道具入れに



勝手口にはコンパクトな組み合わせ



CUB-R60S×2セット

掃き出し窓にはワイドな収納



CUB-R60S×2セット/CUB-8060W-3S×1セット

城東テクノ株式会社

本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目14番地1

城東テクノホームページ <http://www.joto.com>

本製品に関するお問い合わせは

フリーダイヤル [J]

0120-106011

建材マンスリー
Kenwood Monthly

June
2014
No.584



昭和39年8月創刊
発行人/梅木孝徳
住友林業株式会社

第50巻 平成26年6月1日発行 (毎月1日発行)
発行所/建材マンスリー編集室 〒100-8270
木材建材事業本部 事業開発部

通巻584号

東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)

TEL 03-3214-3280 FAX 03-3214-3282